

グループ紹介

大池歩く会



私たち「大池歩く会」は、平成4年（1992年）7月に大池地区福祉委員会による会員募集に寄与したのをきっかけに発足し、同年11月には「第1回 天王山・柳谷観音コース」を計画しスタートを切りました。

平成7年（1995年）の阪神淡路大震災による計画中止が一度ありましたが今日まで継続し、夏季の特別企画では、富士山、御嶽山、剣山、大山、御在所岳、高野三山（楊柳山・転軸山・摩尼山）や茨木市に縁がある大江山などの山々にもチャレンジしてきました。

毎年10回程度のハイキングを、ときには現地までバスを利用し実施しています。

当会は、本年10月で丸14年（139回）を迎えますが、会員数は約130人に膨らみました。そのうち、女性が80%を占めています。年齢層では最高齢が85歳で、平均は65歳のグループです。会員各自が、自分の体調や体力に合った無理のないコースを選択しながら参加しています。

当会の目的は、会員自身の「健康維持と体力の増進」と「会員相互のコミュニケーションの機会をもつ」ことですが、確実にその目的は達成されていると言えるでしょう。

私たちの骨密度は、年齢とともに低下すると言われていています。それを少しでも維持するには、太陽の下で汗を流し、適度な運動をすることが有効な手段の一つだそうです。

私たちといっしょに歩きませんか。大池地区以外の方も一度ご連絡ください。

連絡先 池田 武 633-4572

友和会（大正琴・フラダンス）



平成3年（1991年）頃、私たち主婦が寄り集まって何かいこでも始めようかと話していたところ、当時流行していた大正琴の美しい音色に惹かれて、さっそく練習してみようということになりました。

最初は大変でしたが、だんだんと慣れるに従い、いろいろな新しい曲が演奏できるようになりました。そのうちフラダンスも練習し始めました。

演奏や踊りの依頼が来るようになって、自分たちの日頃の成果を披露できる場所ができたことは、とてもうれしいです。

そうした場所で、きらきらとしたフラダンスの衣装に身を包んで、体を振りながら汗を流して踊ることはとても楽しいです。

現在、メンバーは約15人です。練習は公民館などいろいろな場所で行っています。

練習する曲目は、民謡、歌謡曲、唱歌、童謡などさまざまですが、たくさん練習を積んで、皆さんに喜んでいただけるような大正琴、フラダンスにしていきたいと思えます。

皆さんも私たちといっしょに大正琴を弾き、フラダンスを踊ってみませんか。入会を心からお待ちしています。



連絡先 西村 久美子 627-0086
（茨木市社会福祉協議会 ボランティアセンター内）

市民インタビュー この人に会いたくて



第28回

茨木市民の中からいきいき生活の達人を探し出し、紹介するコーナーです。話から見てくるその豊かな人生に、あなたもきっと勇気づけられることでしょう。

ガンバ大阪のMF（サッカー選手）
てらだ しんいち
寺田 紳一さん

耳原小学校1年生で地元のサッカークラブに入る。ガンバジュニアユース、ユースを経て2004年にプロ契約する。小学校の頃からの夢だった「プロサッカー選手」を現実のものとした今、ガンバ大阪のレギュラーを目指し毎日の練習に励んでいる。

プロになろうと思われたのはいつ頃ですか。

プロになれたらいいなという思いは、サッカーを始めた頃から持っていました。はっきりとした目標になったのは、高校3年生に上がる時でした。その頃、ガンバ大阪から本格的にトップチームでやってみないかという誘いがあり、自分でもやれるのではないかという思いがありました。

実際にプロに入って感じたことは何ですか。

選手の勝負に対する意識、こだわりがユース時代とは全く違っていました。お客さんはお金を払って見に来るわけですから、当然勝負に対する厳しさも違います。また、選手の体格やスピード、ゲームの局面での判断力も全く違います。正直、クラブ加入当初は、本当についていけるかどうか不安でした。外国人選手や日本代表クラスの選手は、競り合ったときの球際を決して軽くあしらわれないし、魂がこもっているように感じます。

モチベーションを保つ方法は何ですか。

ぼくはモチベーションを保つのが苦手なんです。コーチに時々指摘されて喚起しているのが実情です。

しかし試合では、ベンチにいる間も、ピッチに立ったときに自分は何ができるのか、監督から何を期待されているのかなどを考えて、自分にできるプレーをイメージしています。

6月に開催されたワールドカップドイツ大会を見ての感想を聞かせてください。

とにかく、スピードが全然違うなと思いました。今、

ぼくは21歳ですが、同じ世代の選手がたくさん出ていて、最高の舞台で活躍していました。本当に同じ年齢なのかと思うほどでした。ジダンなどのスタープレイヤーにもひるむことなく立ち向かっていく姿に、ずいぶん肝が据わっているなと感心しました。世界レベルのプレーを見ていると、自分が子どものように思えました。

尊敬する選手、目標とする選手はいますか。

昨年引退したガンバ大阪の松波さんです。サッカーに対する考え方、人間性など見習うことがとても多いです。面倒見も良くてとてもいい人です。ユースに指導者として現在も残っておられるので心強く思っています。

今後の目標は何ですか。

今までの目標は、Jリーグ選手契約のグレードアップ事項の一つである年間試合出場時間450分を達成することでしたが、これは先日達成することができました。

次の目標は、ガンバ大阪でレギュラーとして多くの試合に出場することです。そのためには、どんな場面でもコンスタントに自分の力を出し切れるように、技術面だけでなく精神面も鍛えていきたいと思っています。また、自分の持ち味である攻撃的な部分を生かして、監督の期待に応えられる選手になることです。

茨木市の良いところは何でしょう。

自然が多いことですね。試合でいろいろな所に行きますが、同じ大阪でも茨木市はまだ自然が残っています。ぼくが住んでいる茨木もガンバの練習場のある万博周辺も自然が豊かです。ぼくは、緑が大好きなんです。